

VISITS

【企業情報】

本社所在地 東京都千代田区

事業内容 イノベーションテック事業

従業員数 140名
(2019年11月末日現在)

「VISITS Marunouchi」の様子



【背景】

同社は、「AIを超える」独自技術であるCI（Consensus Intelligence）技術を有するスタートアップである。CI技術とは人の創造性、目利き力、アイデアの価値をアルゴリズムを用いて定量化する技術だ。この技術を活用した合意形成エンジンを用いることで、単なる多数決とは異なった、よりイノベティブな合意形成が可能となる。

例えば、同社のCI技術を用いたプロダクト「ideagram」においては、「アイデア創造」「アイデア評価」という2つのプロセスを経て合意形成を行う。参加者が出したアイデアの結果をもとに、参加者各人の目利き力を算出し、アイデア評価の結果にその目利きカウエイトを加重するというロジックを用いる。こうすることで、参加者全体として「どのような創造性と目利き力の確率分布に従っていれば、全体として最も納得性の高い合意形成が成立するか」という「説明力最大化問題」を解き明かす。

【取り組み】

◆テクノロジーを用いたオフィス空間デザイン

同社は2019年7月、東京都千代田区にテクノロジーを用いたオフィス空間デザインのモデルルーム「VISITS Marunouchi」をオープンさせ、本社も同施設内に移転した。先述のCI技術を応用し、自社のミッションを実現するために必要な「オフィスで発生する課題や願望」に関するデータを抽出し、その結果に対しデザイン思考を用い「願望を叶えるオフィス空間」をデータドリブンにデザインするという独自手法により設計されている。

オフィスの窓からは皇居の木々が見えるほか、室内には多数の植物が配置され、自然と生命の息遣いや季節のうつろいを感じさせ、従業員に新たな気づきを与える一助となる。

オフィスは執務スペースとオープンスペースで構成される。執務スペースは各人が作業に集中できるレイアウトとする一方、オープンスペースは極力間仕切りをなくした開放感あふれる空間にすることで、集中と緩和のメリハリをつけ、創造力を引き出す環境となっている。そのほか、人が自然と集まるように設計されたオープンスペースの大テーブル、会話のきっかけを増やす為にあえて一本に絞られたオフィスの導線、夜はバーカウンターになる受付など、ミッション達成の為に従業員同士が一体感を生み出す工夫が随所に盛り込まれている。

このように、「どうあるべきか」という理想から考えるデザイン思考で作られたオフィスデザインは、従来のオフィスに比べ「社員の幸福度向上」に資することが分かっている。

◆コミュニケーション活性化の工夫

同社では、オフィス空間と相乗効果を図るべく、ミッション達成に向かって社員が一体感を高める為の施策を企画する専任チームが存在する。四半期ごとに目標達成をお祝いするイベントや、部門を超えたシャッフルランチ、カクテル作りが得意な社員による「VISITS Bar」、ヨガやボードゲームといった各人の趣味・特技を活かした社員主導のクラブ活動等、普段業務でかかわらない社員が交流する企画を通して一体感を作り出している。また、家族へのプレゼント手配や旅のプランニング等、社員のプライベートをサポートするコンシェルジュが常駐しており、「仕事」にも「プライベート」にも全力投球できる環境を創出している。

【成果・今後の展望】

同社は、昨年よりデータ解析からオフィスデザインに至るまでワンストップでサービス提供を開始し、大手メーカーや外資系コンサル会社等のオフィスをミッションドリブンな働き方ができるオフィスリニューアルのプロデュースを手掛けている。今後も「創造性を科学し、世界中の誰もが社会価値創造に貢献できるエコシステムを構築する」というミッションに向け、破壊的なイノベーションを創発していく。